

お気に入りの絵本を紹介しよう

知的障がい 中学部3年 国語
「お気に入りの絵本を紹介しよう」
資料の活用・読書指導

ねらい

- 紹介したい本を友だちに伝えることができる。
- 選んだ絵本のお気に入りの場面を伝えることができる。

学習展開

- ① 季節の絵本を紹介し、読み聞かせをする。
- ② 気に入った絵本を選定する。
- ③ 本を選んだ理由、気に入った場面を考え、ワークシートに書く。
- ④ 紹介したい絵本をわかりやすく伝えるために、発表前に伝える内容や発表の仕方を確認する。
- ⑤ 紹介したい絵本を友だちに伝える。



お気に入りの絵本を紹介しよう！	
ほんのなまえ	
えらんだ理由	が、よかった。
お気に入りの場面	が、
ところで	
おもしろかった	たのしかった
うれしかった	こわかった
です。	です。
なまえ	

気に入った場面をワークシート(右)に記入する生徒



図書室前に掲示

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭は学校司書と相談し、生徒の実態に合った絵本を選定する。
- 司書教諭は担任と相談し、生徒の実態に応じたワークシートを作成する。
- 学校司書は紹介文を図書室前に掲示する。
- 学校司書は学習に合わせた図書の展示をする。

★指導のポイント

- ◆ 絵がはっきりしているもの、お話しに馴染みのあるものを選書する。
- ◆ 読み聞かせのときに絵本が見やすいように、大型絵本が出されている種類を選書する。
- ◆ ワークシートを活用して発表内容をまとめる。
- ◆ 友だち同士で発表し合い、本に関心をもつ。

資料

「まめうしのびっくりなあき」(PHP 研究所)、「おいもをどうぞ」(ひかりのくに)、
14ひきのかぼちゃ(童心社)、「ぐりとぐらのおきゃくさま」(福音館書店)、「まどからのおくりもの」(偕成社)、「おしくらまんじゅう」(ブロンズ新社)